No.132
2012 4

學院だより

〈東京家政学院大学〉

神田小川町雪だるまフェアの「雪だるまコンテスト」優秀賞チーム　タイトル「見守り」

〈東京家政学院大学〉

三井アウトレットパーク多摩南大沢にて生活デザイン学科３周年記念ファッションショー

〈東京家政学院大学〉

日本文化学科書道ゼミの卒業制作展開催

〈筑波学院大学〉

２／14に、ボランティア論と就活セミナーの合同授業として福島からの避難者の話を聞く授業を実施

目　次

○　東京家政学院大学・大学院……　1～3P
○　入試日程……　4P
○　筑波学院大学……　5～7P
○　学校法人東京家政学院……　8P
○　東京家政学院中学・高等学校……　9～10P
○　社会のなかで、研究室紹介　……　11P

発行　学校法人　東京家政学院
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

東京家政学院大学

TOKYO KASEI - GAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）
千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

〈KVA 祭にて生活デザイン学科ファッションショー〉
中庭のステージにはファッションショーのために「花道」が用意されました

新入生を迎えて

東京家政学院大学
学長　天野正子

ご入学、おめでとう！　新入生のみなさんの晴れの日の門出を心からお祝い致します。

みなさんは今日から「生徒」ではなく、「学生」です。学生というのは、高校とちがって制服がないように、自分の頭で考え、判断して行動し、それに責任をもつ人をいいます。

いま、学生のみなさんの心のうちには、明日への希望とともに未知の世界に向かう不安とが交り合っていることでしょう。でも、大丈夫です！　みなさん一人ひとりがしっかりした足取りで大学という世界で新たな学びを始められるよう、私たち教職員はできる限り力を尽くします。みなさんも自分や自分の仲間うちに閉じこもらず、心を開き、身体を動かし、思いを言葉に出して、友だちや教職員に働きかけてください。

本学は、来年で90周年を迎える、長い歴史と実績をもっています。創立者は家政学の草分けである大江スミ先生です。そこでの建学の精神は、現実をとらえる「広い知識」(Knowledge)、他者の立場を思いやる「徳性」(Virtue)、生活課題にとりくむ「技術」(Art)を兼ね備えた女性を育てることでした。本学ではこれをKVAスピリットと呼んで、大切に引き継いでいます。

もう一つ、本学が重視しているのは、みなさんを大勢のなかの一人ではなく、一人ひとり可能性をもった人間としてていねいに向きあい、その隠れた能力や関心、意欲を引き出すことで、4年間でどれだけ成長したのかという「卒業成長値」です。

そのためには、肝心のみなさん一人ひとりが自分のなかの人間としての可能性を信じて、キャンパスライフのあらゆる場面に積極的に関わり、挑戦していくことが大切です。

本学への入学をきっかけに、みなさん一人ひとりにかけがえのない未来が開けていくことを、心から期待しております。

平成24年度学友会役員挨拶

東京家政学院大学
学友会会長
小林　紀子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まるキャンパスライフ…きっと期待と不安でいっぱいだと思います。もしこれから、分からないことや困ったことがあれば、まずは先輩に聞いてみましょう。そして、大学生活は勉強も遊びもまずは自分のやりたいことを実行してみてください。大学生というこの時期だからこそできることが、目の前にはたくさんあります。チャンスを逃さないようまずは行動を起こし、立ち向かってゆくと良いでしょう。この4年間、素敵な学生生活を送れることを願っています。

平成24年度学友会役員決定

（町田キャンパス）

会　長	小林	紀子	3DB
副会長	筧	実樹	3DB
〃	塚原	彩夏	2DC
会　計	大友	こまき	3DC
渉　外	白井	里実	3DB

（千代田三番町キャンパス）

副会長	笠原	佑里	3HB
会　計	西澤	薫	3HB
〃	坂本	香子	2HC
監　査	横田	夏美	3HC
〃	髙橋	彩夏	2HC
渉　外	中島	佳香	3HA
〃	須藤	さつき	2HC
書　記	遠藤	玲実	3GA
〃	田中	湧巳	2HC

お知らせ
大江文庫資料紹介は今回お休みさせていただきます。

「地域交流会２０１１」開催

昨年12月1日、本学町田キャンパスの大江スミ記念ホールにて、「東京家政学院大学 地域交流会２０１１」を開催しました。地域交流会は、本学の地域連携活動を地域の方に知っていただく機会として、２００７年以降、毎年開催しています。これまで、同交流会を契機として連携に発展したケースもあり、実質的なマッチングの場にもなっています。

基調講演では、昨年7月に本学との共同開発商品として発売されたゆずの佃煮「ふじの煮」の開発の経緯について、有限会社ふじの安藤久士様よりお話をいただきました。パネルディスカッションでは、「地域連携活動における〝若者力活用〟の可能性」と題して、大学、企業、自治体、金融機関の四者による意見交換を行いました。両方次第で若さや勢いといったプログラムを通じて、学生を中心とした連携は大学や企業の関わり方次第で若さや勢いといった学生のポジティブな面が引き出され、双方に良い結果をもたらす可能性があることを確認しました。

企業や行政機関の方をはじめ１００名以上にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。多くの方に本学の地域連携の実績や方向性をアピールする機会となりました。

ふじの安藤社長による基調講演

平成23年度卒業式大学・大学院

平成23年度の大学卒業式及び大学院修了式が、3月19日（月）に大江スミ記念ホールで挙行されました。

開式前には、呉　起東准教授制作のビデオが放映され、学生生活を懐かしんでいました。

式では、天野正子学長から学位記が授与され、学長は告辞で、「未来へと羽ばたく若人へ」と題して、「自分自身の人間としての可能性を信じ、挑戦し続けてほしい。挑戦して失敗したらやり直せばよい、才能とはやり直す能力である」と語り、まとめに、「国内外に生き難さを抱えて立ちすくむ人がふえている時代に、他者の痛みを自分の痛みと感じとれる想像力を鍛えてほしい」と結ばれました。

来賓を代表して宗像伸子光塩会会長から祝辞が述べられました。

アリオ橋本との連携イベントの報告

昨年12月3日（土）アリオ橋本店にて、生活デザイン学科主催のKVAコレクション in アリオ橋本～女子大生が選ぶファミリーファッション～が開催されました。このファッションショーでは、学生がアリオ橋本店内のアパレルショップから商品を選び、『自分たち世代』『New Family 世代』『親世代』の三世代のスタイルをコーディネートしました。ショーの企画や演出、運営等を学生スタッフが行い、モデルとして、学生、大学教職員の他、地域の方々にもご参加頂き、東京家政学院大学―アリオ橋本―地域住民が連携した『提案・参加型』のファッションショーとなりました。ゲストにモデルの道端カレンさんをお招きして、学生とのトークショーも開催し、衣装のスタイリングや女性の生き方等、学生へのアドバイスを頂くことができました。また12月9日～25日の期間、アリオ橋本店内にてパネルとショーのDVD放映による報告展示も実施しました。

親世代「父とゴルフへ」
父モデル　総務G 飯谷俊一郎課長、教育研究支援G 鶴田智也課長

「ショッピング」

第11回神田小川町雪だるまフェア

平成24年1月21日（土）～22日（日）に開催された第11回神田小川町雪だるまフェアの「雪だるまコンテスト」に東京家政学院大学から現代家政学科の３チームが参加し、参加24チームの中で優秀賞（準優勝）と特別賞の嬬恋賞（２チーム）を受賞しました。

神田雪だるまフェアは、千代田区神田小川町の５商店街が主催し、千代田区、千代田区観光協会、千代田区商店街連合会などが後援し、群馬県嬬恋村と提携して嬬恋村から約70トンの雪を運び込んで実施されている行事で、今年から東京家政学院大学も後援しています。

雪だるまは縦１m、横１m、高さ２mの雪の塊を削って作成するもので、毎年芸術的な作品やユニークな作品が作成されています。優秀賞を受賞した「タワー彫ルガールズ」チームは昨年も挑戦し、参加二回目での偉業達成です。

また、人間福祉学科一・二年生有志もメイン会場の「ちびっ子広場」のスタッフとして協力し、フェアの運営に大きく貢献しました。

学生たちが考案したメニューを食堂で提供

生活デザイン学科の後期授業「基礎ゼミ」（一年生）、「生活デザイン演習D」（二年生）では、衣・食・住・ものつくりに関連する15テーマの中から一つを選択し活動するという全員参加型の授業を展開しています。テーマの一つ「プロデュース大作戦～学食編」では、学生食堂の新メニューの企画・提案を㈱グリーンベルと共同で行いました。

人間福祉学科が被災地支援のボランティア活動を行っていますが、その一環として学生食堂で東北の素材を使ったメニューが提供されています。今回はその企画にも合わせ、石巻産のサンマを材料にした「サンマの唐揚げ丼～南蛮風～」をメニュー化しました。また様々なアイディアの中から、「明太カルボナーラうどん」と「ぽかぽかキムチ鍋セット」もメニューとして販売されました。

本授業内容は、八王子ケーブルテレビでも放映され、自分たちのアイディアが商品として形あるものになるという楽しさを感じることができました。

サンマの唐揚げ丼～南蛮風～

日本文化学科書道ゼミの卒業制作展開催

人文学部日本文化学科主催の「書道展（卒業制作展）」は、本学の改組にともない今年度の第20回（平成24年1月18日～30日）を最後に閉幕いたしました。長い間ご観覧いただきまして本当にありがとうございました。

この書道展は初回から第11回目までは町田市立国際版画美術館で開催され、第12回目からは町田キャンパスの生活文化博物館に会場を移しました。「書」だけでなく「篆刻（てんこく）」や「料紙」など学生たちの多彩な作品が展示され、在学生はもちろん家族そろって観覧されるなどアットホームな雰囲気の書道展でした。20年間続いた学生手作りの展示が消えてしまうのはとても残念ですが、新しい時代を迎えるためのステップととらえたいと思います。

昭和63年に日本文化学科が設置されて以来、書道ゼミや多くの「書道」関連科目を担当されました初代書道研究室教授の鈴木和昭先生をはじめ木村睦夫先生、雨宮多津夫先生、平澤和泉先生など、長年にわたりご指導されました先生方のご尽力に心より感謝申し上げます。（人文学部日本文化学科）

平成23年度大江賞受賞者

大江賞が次の方々に卒業式で授与されました。

家政学科　澁谷朋美、長井真奈美、井本悠美子　児童学科　大野夏季　住居学科　中岡優　日本文化学科　張艶（ちょうえん）　工芸文化学科　髙橋真理子　人間福祉学科　百地かほり、豊住侑子　文化情報学科　田雨（でんう）　学友会　熊野吾子　国際交流　馮士懿（ひょうしい）　以上12名

大学コンソーシアム八王子で運動着のデザイン提案

大学コンソーシアム八王子は、産学公による共同研究、学生と市民の交流などを推進し、平成23年12月3日、第三回学生発表会を開催しました。この発表会では、地域連携の活動として株式会社レイバンの協業により、新しい運動着のデザインを提案しました。

内容は、女子中学・高校生の運動着の実態・意識調査の結果から、19名の学生がデザインした①運動性と女の子らしさを取り入れた「ガーリー&スポーティー」②裏面に碇模様をプリントした「おしゃれカジュアルマリン」③機能性、通気性、保温性を重視した「着たくなるジャージ」④デザインにこだわった「体操着こそスタイリッシュに！」などのユニークな運動着が提案されてサンプルを試作していただきました。

今回の発表では、学生たちの調査を推し進める力や新しいデザインを創造する力、積極的に取り組む意気込みと、全員が協力して発表パネルや資料等を作成してきたことによって優秀賞をいただきました。

コンソーシアム会場

生活デザイン学科　アウトレットパークと KVA 祭でファッションショー
今年のテーマは“Costume　～バレエの衣装～”

生活デザイン学科３周年を記念して、三井アウトレットパーク多摩南大沢で３回目となるファッションショーが、10月30日（日）好天のもと開催され、詰めかけた多くの来場者の喝さいを受けました。また２週間後のKVA祭でも中庭のステージが華やかな雰囲気で包まれました。

今回は「Costume ～バレエの衣装～」をテーマに19体を出展。グラズノフのバレエ音楽で第１部「四季」、オデット、オディール、王妃、ロットバルトの役柄イメージを表現した第２部「白鳥の湖」、祭３部の「ウェディングドレス」では日本の婚礼衣装である白無垢と西洋のウェディングドレスを融合し、併せて機能性を持たせた和洋融合の衣装が登場しました。

三井アウトレットパーク多摩南大沢では本学のファッションショーが秋のイベントとして定着し、学生手作りのショーを続けてほしいとの期待が伝えられました。

平成 25 年度　入試日程　東京家政学院大学

◆入試日程

入試種別	日程	出願期間 ※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
AO入試	1期	9月1日（土）～9月12日（水）	別に定められた出願前の面談日	9月19日（水）	9月28日（金）
	2期	9月19日（水）～9月27日（木）		10月03日（水）	10月12日（金）
	3期	10月11日（木）～10月19日（金）		10月24日（水）	11月2日（金）
	4期	10月31日（水）～11月8日（木）		11月14日（水）	11月22日（木）
	5期	12月4日（火）～12月11日（火）		12月14日（金）	12月21日（金）
推薦入試	A日程	10月18日（木）～10月26日（金） 窓口受付：10月29日（月）※2	11月4日（日）	11月7日（水）	11月15日（木）
	B日程	11月19日（月）～11月30日（金） 窓口受付：12月3日（月）※2	12月8日（土）	12月11日（火）	12月19日（水）
一般入試	S日程	1月7日（月）～1月17日（木）	1月26日（土）	1月30日（水）	2月6日（水）
	A日程	1月7日（月）～1月18日（金） 窓口受付：1月21日（月）※2	2月1日（金） 2月3日（日）	2月4日（月）	2月12日（火）
	B日程	1月23日（水）～2月6日（水） 窓口受付：2月7日（木）※2	2月14日（木）	2月15日（金）	2月22日（金）
	C日程	2月21日（木）～3月1日（金） 窓口受付：3月4日（月）※2	3月13日（水）	3月14日（木）	3月22日（金）
センター試験利用入試	A日程	1月21日（月）～2月1日（金） 窓口受付：2月4日（月）※2	大学入試センター試験 1月19日（土） 1月20日（日）	2月7日（木）	2月14日（木）
	B日程	1月30日（水）～2月8日（金） 窓口受付：2月12日（火）※2		2月15日（金）	2月22日（金）
	C日程	3月7日（木）～3月18日（月） 窓口受付：3月19日（火）※2		3月22日（金）	3月28日（木）
特別選抜試験（社会人・海外帰国子女）	A日程	8月24日（金）～8月31日（金）		9月14日（金）	9月19日（水）	9月28日（金）
	B日程	12月10日（月）～12月17日（月）		1月12日（土）	1月16日（水）	1月23日（水）
私費外国人留学生試験	A日程	7月18日（水）～8月1日（水） 窓口受付：上記期間中※3		9月14日（金）	9月19日（水）	9月28日（金）
	B日程	11月14日（水）～11月28日（水） 窓口受付：上記期間中※3		1月12日（土）	1月16日（水）	1月23日（水）
編入学試験・学士入学試験	A日程	8月24日（金）～8月31日（金）		9月14日（金）	9月19日（水）	9月28日（金）
	B日程	12月10日（月）～12月17日（月）		1月12日（土）	1月16日（水）	1月23日（水）

※1　出願期間は、郵送での締切日（消印有効）を表す。
※2　推薦入試、一般入試、センター試験利用入試の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。
※3　私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日を除く）の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。

平成 25 年度 AO 入試面談日・キャンパス

	面談実施日	現代家政	健康栄養	生活デザイン	児童	人間福祉
第1期	8月23日（木）	千代田三番町	千代田三番町	町田	町田	町田
第2期	9月15日（土）	〃	〃	〃	〃	〃
第3期	10月6日（土）	〃	〃	〃	〃	〃
第4期	10月27日（土）	〃		〃	〃	〃
第5期	12月1日（土）	〃		〃	〃	〃

◆オープンキャンパス 2012 日程予定

	千代田三番町キャンパス	町田キャンパス
3月	25日（日）	25日（日）
6月	17日（日）	17日（日）
7月	22日（日）	15日（日）、29日（日）
8月	4日（土）、5日（日）、19日（日）	5日（日）、19日（日）
10月	7日（日）	
11月	相談会：18日（日）	10日（土）、11日（日） 【KVA祭同時開催】 相談会：18日（日）

（お問い合わせ先）
東京家政学院大学・大学院　〒194-0292　東京都町田市相原町２６００番地
町田キャンパス入試広報グループ
TEL　042-782-9411

平成 25 年度入試日程　筑波学院大学

■推薦入試

区分		出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	奨学生指定校 一般指定校 公募 卒業生	10月25日（木）～11月5日（月）	11月11日（日）	11月15日（木）
B日程	一般指定校 公募 卒業生	11月21日（水）～12月6日（木）	12月16日（日）	12月18日（火）

■一般入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	1月15日（火）～1月31日（木）	2月10日（日）	2月14日（木）
B日程	2月6日（水）～2月20日（水）	3月2日（土）	3月7日（木）

■大学入試センター試験利用入試　［大学入試センター試験日：1/19（土）・20（日）］

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	1月28日（月）～2月6日（水）	本学独自の学力審査はありません	2月19日（火）
B日程	2月25日（月）～3月12日（火）		3月19日（火）

■ AO 入試【セミナー型】

区分	セミナー開催日	出願資格認定通知日	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表
1期	①6月24日（日）	①6月28日（木）	8月1日（月）～8月9日（木）	本面談はありません	8月30日（木）
	②7月15日（日）	②7月19日（木）			
2期	③10月7日（日）	③10月10日（水）	10月11日（木）～10月25日（木）		11月5日（月）

■ AO 入試【予備面談型】

区分	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表
1期	8月27日（月）～9月5日（水）	9月16日（日）	9月20日（木）
2期	10月29日（月）～11月12日（月）	11月18日（日）	11月22日（木）
3期	11月19日（月）～11月30日（金）	12月9日（日）	12月13日（木）
4期	2月25日（月）～3月12日（火）	3月17日（日）	3月19日（火）

■私費外国人留学生入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	9月10日（月）～9月20日（木）	10月14日（日）	10月18日（木）
B日程	1月7日（月）～1月18日（金）	2月3日（日）	2月7日（木）

■社会人入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
社会人入試	1月7日（月）～1月18日（金）	2月3日（日）	2月7日（木）

■平成 24 年度オープンキャンパス開催日時

5月20日（日）	10:30～	※AOセミナー同時開催
6月24日（日）	10:30～	※AOセミナー同時開催
7月15日（日）	10:30～	
8月5日（日）	10:30～	
8月26日（日）	10:30～	
9月15日（土）	14:00～	
10月27日（土）・28日（日）	各日10:30～	※KVA祭同時開催
11月17日（土）	14:00～	
2月23日（土）	14:00～	
3月24日（日）	10:30～	

（お問い合わせ先）
筑波学院大学　〒305-0292　茨城県つくば市吾妻３－１
入試・広報課
TEL　０２９－８５８－４８１５
※詳しくは大学案内、入試ガイドをご覧下さい。

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

新入生を迎えて

筑波学院大学
学長　大島慎子

新入生の皆さま　入学おめでとうございます。皆さまは、筑波学院大学の第８期生として入学されました。教職員一同、心から歓迎いたします。

筑波学院大学は日本の最先端技術の研究を行う筑波研究学園都市の中心にあり、緑に囲まれた静かな環境の中で、皆さまはこれから４年間、社会人への準備期間として様々な体験をしていただきます。

明治近代化以来、多くの個性をもった大学が創りだされ、歴史を重ねてきました。大学が果たす機能も、「研究の場」「教育の場」とともに現代では様々な役割を期待されています。その中で、筑波学院大学は「現代社会のニーズに応える人間を育てる場」としての役割を探求しています。すなわち、何かを達成したいと志す人間の基礎能力を育てる教育現場であることを目指しています。

筑波学院大学の法人である東京家政学院を89年前に創立された大江スミ先生は、「知識 Knowledge」「徳　Virtue」「技術 Art」を修得することを方針とされました。これを現代社会の教育機関である本学におきかえると、グローバル化した経済社会に必要な多様な知識を得ること、高度情報社会を生きぬくために必要な情報技術やコミュニケーション能力といった技能を身につけること、そしてそれを社会に役立てることと理解することができます。

本学はつくば市に設立されて20年が経ちますが、この間、日本は百年に一度といわれるような経済危機に直面し、昨年は東日本大震災や福島原発などの災害に見舞われました。また世界経済も不安定であり、将来が予測できない時代が続いています。その中で、本学では時代環境に対して受け身に生きるのではなく、自分のテーマを発掘して社会に役立つように挑戦しようとする学生を育てる場であることを志したいと考えています。自分のことだけを考えるのではなく、多様な価値観をみとめ、社会に役立とうとする志をもつことが「徳」といえます。

新入生の多くの方々とは、オープンキャンパスでお目にかかっていると思いますが、入学案内にある「ひとり立ち宣言」とは自立であると説明いたしました。人間の自立とは肉体的、経済的、精神的な３つの自立があり、これは健康管理を自分ですること、社会人として仕事をもつこと、そして自分の選んだことに責任をもつ、これが精神的な自立であるとお話しました。

大学生活では、中学や高校で得た量的な知識を知性にかえること、自分の周りへの関心から広い世界に関心を広げること、そして「つくば市をキャンパス」にした本学独自の社会貢献活動を通して、社会とのつながりを知ることを目指して充実した４年間を過ごせることを期待しています。

平成23年度大江賞受賞者

平成23年度大江賞受賞者は以下の通りです。

情報メディア学科　和田　美樹
国際交流学科　櫛田　ひかる

平成24年度役員決定

平成24年度学友会
会　　長　佐保田　拓磨
副 会 長　武藤　友香、佐藤　杏奈
会　　計　小池　知泰、野濱　哲也
書　　記　竹内　理恵、松本俊太郎
広　　報　中野真梨華、藤沼　荘介、最上　大河、小林　哲
渉　　外　箕輪　有希、玉木　團、井高　悠斗、岡野　将也
会計監査　渡辺　岳

平成24年度クラブ連合会
委 員 長　吉森　麻梨奈　副委員長　武藤　友香

第22回KVA祭実行委員会
委 員 長　保坂　友太　副委員長　大江 道貴子

平成24年度学友会会長挨拶

筑波学院大学
学友会会長
佐保田　拓磨

平成24年度、筑波学院大学学友会会長に就任しました佐保田拓磨です。私は1年生から学友会役員として、会員である学生がより豊かな学生生活を送る為の支援と、本学の発展向上を目的として取組んできました。振り返ってみると、多くの企画、運営に携わり、微力ながら学生相互の親睦を深めることに貢献できたと感じています。思うように進まないことや、時には遠回りせざるを得ないこともありましたが、どのイベントもやり遂げたという達成感を得ることができ、充実した時間を過ごすことができました。

個人的に印象に残った活動がＫＶＡ祭です。学友会では仮装大会とお化け屋敷を行い、決して多くはない役員が準備から片付けまでの報告、連絡を密に取りながら進めていくのを見て、役員一人一人のイベントを成功させようという気持ちがひとつになったと感じました。しかし、昨年度は震災の影響を受け、学生生活に様々な制約を受けました。学友会にも影響があり、実現できなかった企画もありました。今年も多少なりとも影響がありますが、その中で一生懸命に企画を実現していくことが何よりも最善であると考えています。

今年は、恒例のイベントと共に新たなイベントの運営をしていきたいと考えています。そのために不可欠なのが、自分が何をすればよいかを理解することだと思います。指示に従い作業をこなすのは誰にでもできますが次に何をすればよいか、周りを見て判断できることが重要です。あとは楽しむことです。まず自分たちが楽しくなければ学生が盛り上がれるわけがないからです。

それらを踏まえ、今年の学友会は役員全員が責任を持ち、自分がなにをすべきか冷静に判断でき、なおかつ自分を含め、学生全員が盛り上がっていける組織にしていきたいと考えています。

第23回学生総会開催

第23回学生総会（学友会主催）が平成24年1月11日（水）に大教室にて開催されました。

まず平成23年度について、東日本大震災の影響により例年実施している行事の中止があったものの、被災地へ送る募金活動や暖簾の制作など、新たな活動が行われたことの報告と、学友会、ＫＶＡ祭実行委員会、クラブ連合会の収支決算報告が行われました。

続いて平成24年度について、学友会会長及び副会長の選出・承認があり、新会長より次年度の活動計画の発表がありました。また、第22回ＫＶＡ祭実行委員長、クラブ連合会委員長の選出・承認が行なわれ、各会の収支予算案についても承認されました。

引き続き、学長主催ニューイヤーパーティが開催され、終始和やかな雰囲気の中、親睦交流を深めることができました。

平成23年度春期就活ガイダンス

2月13日（月）～16日（木）の4日間、現3年生と2年生を対象に、例年より1ヶ月早く就活ガイダンスを実施しました。今回は、4日目に茨城県の優良企業10社による合同セミナーを企画し、3日間のガイダンスの成果を発揮する場とすることで実施されました。

講師に、キャリアコンサルタントの藤枝玲子氏、メンタルサポートスタッフの小松崎浩司氏を招き、自己分析、エントリーシート・履歴書対策、面接やグループディスカッション・グループワーク対策、企業研究の仕方など夏期就活ガイダンスより実践的な指導を行いました。参加した学生からは、「就活に必要な知識や情報を得ることができた」や「グループワークから自分と他人との意見を調整する難しさを知った」など満足度が高い声が寄せられました。

4日目の企業セミナーでは、２つの教室に分かれ、希望する業種の説明を聞いた後、質疑応答が活発に行われました。人事担当者と直接話すことから企業のイメージを掴むことができ、内定への一歩を踏み出す機会となったと思います。

企業セミナー時の
質疑応答の様子

卒業研究発表会

筑波学院大学の卒業研究発表会が、平成24年２月９日に行われました。１号棟３階を情報メディア、２号棟３階を国際交流の各学科が会場とし、各々５会場と３会場に分かれ発表を行いました。主なテーマとしては、情報メディアＡ会場では「デザインの提案」や「デジタルアニメーションの制作」、Ｂ会場では「システム開発や応用」、「CG」「3D」などについて、Ｃ会場では「食」「ファッション」「文化」について、Ｄ会場では「睡眠」や「ロボット」など、Ｅ会場では「アプリケーションの開発」や「ゲーム制作」などが取り上げられていました。国際交流では「文化」「歴史」「観光やサービス」「言葉」などのテーマで研究結果の発表が行われました。

卒業研究発表会の様子

学生が日頃の成果を、学会で発表

日頃、筑波学院大学では学生の成果が学会等で発表できるようにと指導を進めています。吉田眞澄ゼミではCG系とシステム系を融合して毎年テーマを上級生から引き継ぎ、2年生、3年生が情報処理学会で発表しています。今年も、立原将行君（3年）、坂入圭亮君、鈴木亮大君、佐保田拓磨君（2年）、米本京介君（4年）それぞれが、「CGによる立体の見え方モデルの自動生成」、「行動からの動きの解析とその表現」、「階層的な画像の圧縮復元方式と評価」の研究テーマで3件発表を予定しています。また、松岡東香ゼミでも渡辺竜毅君（4年）が第6回パーソナルコンピュータ利用技術学会全国大会のポスターセッションで、「バルハシ湖（カザフスタン）の湖底堆積物の地磁気データの分析結果」を発表しました。そのほか山島浩ゼミでは日本教育工学会で、浜田利満ゼミではSICEロボット・セラピー部会で発表しています。発表することで自信をつけ、大学院の進学につながったり、就職につながっています。

デザイン系研究室「つくば南1駐車場のサイン計画への提案」採用される

筑波学院大学デザイン系研究室では、つくば市内中心部にある南1駐車場（財団法人つくば都市交通センター）の、全面改装に伴うサイン計画に向けてデザインを行ないました。新しいサイン計画は、中川麻子講師と高嶋啓講師が中心になり、デザインゼミの学生とともに、現地調査と企画、プレゼンテーションを経て、採用されたものです。

新しいサインは、「わかりやすく」、「おぼえやすい」、そして「明るく親しみやすい」場所となることを目指しました。7階建、2棟続きの駐車場を、それぞれ「りくの棟」と「うみの棟」として色分けをし、各階に動物キャラクターを利用したピクトグラム（絵文字）を取り入れました。動物キャラクターのデザインは、阿部裕美さん（4年）、黒尾芽依さん（3年）が担当しました。また、菅原美生さん（3年）、花山美乃里さん（3年）がデザイン作業補助を行ないました。南1駐車場は、2012年4月にリニューアル完成予定です。

動物キャラクターの新しい駐車場サイン

避難者の話を聞く授業を実施しました

2月14日（火）に、ボランティア論と就活セミナーの合同授業として、福島県からつくば市に避難されている方々8名をゲスト講師にお招きし、昨年の東日本大震災時の様子と福島第一原子力発電所の事故以降、どのような避難生活をされてきたのか、お伺いする機会を設けました。

原子力発電所の近くに住まれていた中村希雄さんは、津波に流され、かろうじて木の枝につかまることができ、一命を取り留めることができたこと、その後、原発事故による避難命令により、つくば市の公務員宿舎に住まれるまで、あちこちを転々とされてきたことなど、想像を絶する避難生活を送られてきた様子をお話されました。

避難者から学生に対して、家族や仲間のありがたみ、普通に生活を送れる大切さ、人生を大事にして欲しい、自分のふるさとを大切にして欲しいなど、様々なメッセージをいただきました。学生からは「これからの社会は自分たちが担っていかなければならない」といった感想も聞くことができ、決して目を背けてはいけない実情をお聴きすることで、各学生、今自分が何をすべきなのか、考える良い機会となりました。

3年生の佐川貴紀さんが応用情報技術者試験に合格

情報メディア学科3年の佐川貴紀君が2011年10月16日に実施された経済産業省主催の情報処理技術者試験・応用情報技術者試験に見事合格しました。彼は、教員の有志で行っている休暇中の勉強会に出席し、すでに1年生でITパスポートを、2年生で基本情報技術者の資格を取得しています。（独）情報処理推進機構によると今回の応用情報技術者試験には56，085人が応募し、合格者は8，612人ということで、かなりの難関試験であることが分かります。コンピュータの専門家である社会人が受験者の大半を占めていて、今回の大学生受験は1，982人で、371人が合格したと報じられています。このような専門性が高く、難関な試験に合格したことは佐川君の努力の賜物であります。佐川君の益々の精進に期待したいと思います。

佐川君と検定合格証

総務省主催「わがまちCMコンテスト」で学生が入賞

昨年11月末に行われた、「わがまちCMコンテスト2011」（主催　総務省関東綜合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会）で、情報メディア学科3年の大久保沙織さん、斉藤守さん、湯本栞さんの共同作品「ふるさと防衛軍」が入賞しました。本コンテストには、150を超える作品の応募があり、その中でも、高度なIT技術を駆使し、学生自らふるさと防衛軍の役を演じた3名のユニークなCMが、高く評価されました。

学校法人 東京家政学院
Knowledge Virtue Art
知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
（代表電話番号）03-3262-2251
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

平成23年度　ご退任の先生方及び職員

3月31日付けで、次の先生、職員が退任されました。
永年にわたり、学院の発展、学校の教育・研究等にご尽力賜りありがとうございました。　「ごきげんよう」

三石　善吉　（筑波学院大学　学長）
吉田　義昭　（東京家政学院中学・高等学校　校長）
大久保晴雄　（東京家政学院大学　教授）
小野塚久枝　（東京家政学院大学　教授）
佐久間昭子　（東京家政学院大学　准教授）
藤掛　洋子　（東京家政学院大学　准教授）
浦本　公子　（東京家政学院中学・高等学校　教諭）
江口　正信　（東京家政学院中学・高等学校　教諭）
岩本　涼子　（東京家政学院中学・高等学校　教諭）
岩出まゆみ　（東京家政学院中学・高等学校　教諭
有泉　　治　（東京家政学院大学　課長）

「東京家政学院創立90周年記念募金」報告

皆様のご協力により、平成22年7月から本年3月までの間に、「記念募金」の額が、約5千万円となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

いただきました寄付金は、次のような事業に活かしています。
【町田キャンパス】KVAショップ（コンビニ）、喫茶コーナーの設置
【千代田三番町キャンパス】子供のための音楽教室記念碑、植栽美化
KVA会館改修、大江スミ記念ローズホールのペンダント照明
【中学・高等学校】キャリアサポートセンターの設置、トイレ改修
【筑波キャンパス】パソコン機器の更新

創立90周年記念事業として、各キャンパスの整備を図って参ります。

引き続き皆様方のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

（記念募金の状況＝平成24年3月10日現在）

個人	1,398件	44,105千円	光塩会・あづま会	942件	15,055千円
			役員	27件	7,955千円
			教職員	179件	16,358千円
			在学生保護者等	250件	4,737千円
法人等	22件	5,405千円			

〈募金についてのお問い合わせ〉
学校法人東京家政学院
募金事務局　TEL　03-3262-2242
E-mail:bokin@kasei-gakuin.ac.jp

光塩会から新入生へのメッセージ

光塩会会長
宗像　伸子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。私たち光塩会は東京家政学院大学の同窓会です。皆様は、ご入学したばかりですが、入学式をお迎えになり、光塩会学生会員としてもスタートを切られたことになります。

私たち同窓会は現在、理事会を中心に、左記の様な活動をしております。創立者大江スミ先生が設立なさった同窓会には、約九十年の歴史があり、各地に五万人ほどの会員がおります。皆様は、将来全国に、また世界に羽ばたき、学院で学んだことを糧に様々な活動をなさっていかれます。

学院でおおいに学んでください。お友達を沢山作ってください。お友達を、サークル活動など様々な経験を積んでください。それが、皆様の将来の宝になるのです。

充実した学生生活が送れますように、同窓生一同願い応援してまいります。そして、身近にそんな同窓生が常にいることを忘れないで声をかけてください。

では、素敵な学生生活をお送りください。

主な活動紹介
◎奨学金給付
◎総会・懇親会の開催
◎機関誌「光塩」の刊行
◎KVA祭への参加・協力
◎大江スミ先生の墓参など

明るく健やかな学院生活を応援します！

あづま会会長
澤田　三和子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ東京家政学院へ。

あづま会は、「東より陽が昇る」という意味で大江先生が命名され、一九四四年に一期生の卒業時に設立されました。以来六八年、会員数は一万五千を超える会となりました。

あづま会は皆さんが高校を卒業されてから参加する同窓会なので、常に交流する事はありませんが、私達は体育祭を見に行き、文化祭に参加するなど、皆さんのすぐそばにいるのです。文化祭は、皆さんと直接交流できる貴重な機会です。私達が作る『あづま会の部屋』は、卒業生と在校生の交流の場となっています。また、皆さんが安心して学院生活が送れるように奨学金制度を作るなど、いろいろな活動をしています。

あづま会は、皆さんが勉強、クラブ活動、生徒会活動などで、明るく健やかな学院生活が出来るように、いつも応援しています。

主な活動紹介
◎総会・懇親会を開催
学年を超えた卒業生同士・卒業生と先生の交流の場となっています。
◎「あづまだより」やホームページを配信
◎校章ストラップを販売
七宝焼の校章をストラップにし、売り上げの一部を奨学金にしています。
◎常磐（ときわ）祭への参加

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

中学カルタ大会に向けて学年での練習風景

入学生の皆さんへ

校長　長尾　宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから中学生は六年間、高校生は三年間、この家政学院で過ごすことになります。合格通知を受け取ったその日から、みなさんはこれから始まる学校生活に多くの期待をされたことと思います。新しい友達との生活はきっと皆さんを更なる成長へと導いてくれることでしょう。しかし、その過程は決して楽しい事ばかりではないはずです。時には不用意な発言で自覚のないまま、誰かを傷つけてしまったり、事が上手く運ばないのを全て周囲のせいにしたりと、そういったことが理由で友人関係が壊れてしまう場面もあるかもしれません。皆さんは、自分がそんなピンチに陥った時、どう解決してゆくのでしょう。

家政学院の教育は、皆さんが希望する大学に進学することのできる学力を身につけることはもちろんですが、社会人として必要なコミュニケーション能力を育てていくことにも重点を置いています。良好な友人関係を築くためには、まず「自分を知ること」つまり、自己を客観視できる能力を身につけることが大切です。本校の「エンカウンター教育」で身につけたコミュニケーション能力は、将来、皆さんに訪れたピンチをチャンスに変えてくれる強力な武器になることでしょう。

次に肝心の学力向上についてお話しします。まず、基礎学力をしっかりと身につけること、そして、論理的思考に裏付けされた応用力のある「真の学力」を身につけさせます。そのために本校独自の学習プログラムに沿って、コース別の授業、習熟度別授業、補習、講習と徹底した少人数での指導を展開しています。それと同時に、皆さんの適性を見極めた上で、皆さんの夢を実現させるためのキャリア教育を徹底しておこなっています。

生きる力（学力・人間力）を身につけ、その成長が生み出す自尊心（自分のことが好きでいられる、大切に思える、誇りに思える）を育てる本校の教育力に期待して下さい。

平成24年度生徒会役員決定

中学生徒会長
刑部香月さん

中学副生徒会長
石井知里さん

※高校の生徒会役員は4月に決定します。

中学生徒会長挨拶

ごきげんよう。この度中学生徒会長になりました刑部香月です。私は昨年副会長として、一年間様々な執行部の仕事を経験しました。その中で私は、協力し合うことの大切さを改めて知ることができました。協力すれば仕事も早く進み、生徒会メンバーとの仲も深まります。例えば、私がうまく中二をまとめられず悩んでいるとき、学年のみんなが相談にのってくれました。生徒会の先輩方は、分からないところを丁寧に教えてくださいました。だから今では少し慣れ、自分から積極的に動けるようになりました。皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、これからもいろいろな方と協力し合い、楽しい学校にしていきたいと思います。そして、家政学院に入ろうと考えている方々にも、良い印象をもっていただくため、今年も学校を盛り上げられるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

平成23年度　高校卒業式

3月3日、千代田三番町校舎のローズホールで高校の卒業式が行われました。今年は土曜日ということもあり、例年より多くの保護者が来校しました。卒業生114名は担任に氏名を呼ばれ、各クラスの代表者が校長から卒業証書を受け取りました。その後表彰が行われ、本校の発展に最も寄与した生徒としてD組の鎌田綾音さんに大江賞が贈られました。また皆勤賞の19名も表彰されました。

送辞は2年E組のヤジッド・アウファさん、答辞はD組の米持里奈さんが述べました。

高校送別会

2月25日（土）、高校送別会がローズホールで行なわれました。前半はソング・バトン・演劇・音楽・軽音など後輩達の発表で後半は高三学年も有志団体がいくつか参加しました。吹奏楽部の演奏の後、生徒会長から「卒業生の言葉」が述べられ、後輩達の拍手に見送られ、手を振りながら退場しました。

～入試広報便り～

中高入試広報係は、“コアな家政ファンづくり”を目指しています。「家政でなければ！」「家政が一番！」と思って下さる受験生を少しでも多く獲得することが、必ず良い結果を生み出します。係では、2012 年度実施の広報活動でいくつかの新企画を打ち出していますので、ご紹介します。

①**新六年生（新五年生も歓迎）対象説明会**：既に 2 月 25 日に開催して、2013 年度受験予定者 24 組が参加しました。吹奏楽部・バトン部の演技披露と中 1 生のレポートを主体に実施しました。保護者からは「在校生のナマの声が聞けて良かった」と好評でした。

②**卒業生対象学校説明会**：学院の今有る姿を、同窓会「あづま会」の皆様にご覧頂きます。学院と学院を取り巻く現状をご理解頂くとともに、卒業生の皆様のご意見・ご要望を伺う企画です。卒業生の皆様に広くご参加をお願い致します。

③**高校・大学合同オープンキャンパス**：併設大学のスタッフと連携して実施します。併設大学の魅力を、受験生の皆様に体験して頂きます。

④**中学体験講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ**：「受験生には授業のミニ体験」「保護者には本校指導の特色」をお伝えする新たな企画です。

首都圏の私学では 2012 年度入試において、軒並み受験生の減少に直面する大変厳しい状況でした。そうした中で、本校は受験生の「増加組」に属することが出来ました。未だ多くの課題を抱えてはいますが、この右肩上がりの傾向を維持して行きたいと思います。係では今年度も鋭意、学院の魅力を広報して参りますので、今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

平成 24 年度実施
東京家政学院中学・高等学校校内説明会日程

	受験イベント	日　付
中学校	学校説明会（学校の雰囲気がわかります）	・6/24（日）10：00～ ・7/28（土）10：00～ ・9/21（金）19：00～ ・11/22（木）19：00～
	入試説明会（◎は適性検査対策）	◎ 9/2（日）10：00～ ◎ 10/20（土）14：00～ ・12/1（土）10：00～/14：00～ ◎ 1/6（日）10：00～ ・1/12（土）10：00～/14：00～
高校	学校説明会	・8/25（土）10：00～ ・10/27（土）14：00～
	入試説明会	・12/8（土）14：00～

※　本年度は卒業生を対象に以下の予定で学校見学会を行ないます。
・6／8（土）　・9／8（土）
詳しい日程については本校 HP や学内広報誌をご覧下さい。

中学・高等学校共通イベント

学校行事
・文化祭 9/29（土） 9/30（日） ・合唱祭 1/18（金）

○お問い合わせ先

東京家政学院中学・高等学校
TEL　03-3262-2559（入試専用）
高等学校事務室 03-3262-2256
中学校事務室　03-3262-2255
FAX 03-3262-2223

社会のなかで

子どもたちとともに育つ

東京家政学院大学児童学科卒業　金田　香鈴

「保育士になりたい」という子どものころからの夢を叶えた瞬間は、私の一生の宝物です。初めて保育園の先生になりたいと思ったのは、私がまだ保育園に通っていた頃。「こんな先生になりたい」という憧れが、今の私の土台になっています。

保育士として働き始めて丸二年が経ち、まだまだ半人前で試行錯誤の毎日。一年目の時、自分のクラスのある男の子から「先生きらい」と言われたことがあります。どう言葉を返していいかも分からず、その日一日は関係の修復をすることで精いっぱいでした。どうにか夕方には「先生大好き」と言ってもらえたものの、とても反省した出来事でした。大学で実習を行っていたときは、クラスの全体を視野に入れて行動することを、よく指摘されました。しかしそれと同時に、個を大切にすることは大前提で、その時の私はそれが疎かになってしまっていたのだと思います。一年目は十五人、二年目は十三人の子どもたちと過ごし、どうしても一人一人と向き合うことが出来ないと感じる時があります。そんな時は、自由遊びの時間の中で、一人の子とじっくり関わることを心がけています。その子の好きな遊びにとことん付き合ったり、時にはギュッと強く抱きしめるなどして、コミュニケーションをとっています。一見楽しそうに過ごしている子どもたちでも、時には寂しそうな表情をするときもあれば、甘えん坊になる時もあります。その思いを受けとめ、少しでも笑顔に代えてあげるのが、私の役目だと思っています。子どもたちと一緒にいながら自分が成長させられているんだと考えています。子どもたちが毎日楽しく過ごせる園生活の手伝いを、これからも日々勉強しながらしていきたいと考えています。大学で学んだことはこれから少しずついろいろな形で出てくるような気もしています。

プロフィール

金田香鈴（カネダカリン）
東京家政学院大学児童学科卒業
（２０１０年３月）
中瀬新生保育園保育士として入職
現在に至る

研究室紹介43

東京家政学院大学 現代家政学科 上村（ライフマネジメント）研究室

３１３名。上村ゼミ、１期生～27期生としてライフマネジメント研究を行った人数は３００名を越えています。ライフマネジメント研究の核が生産（つくる）と消費者（つかう）をつなぐ生産消費者（プロシューマー）教育です。

上村ゼミ1期生（昭和60年度）は三番町の卒業。テーマは「人材派遣業における女子の労働」「寝たきり老人の家計実態」「患者の生活の質から見た腎移植の効果」「税負担格差」など30年近く前のテーマとは思えないほど新鮮です。時代の半歩先をいく感度のよさが伝統です。

テーマは学生たちの自由ですが、平成になり女性農業者に関する研究が増えました。「レストラン経営に取り組む女性農業者」「道の駅の地域連帯機能と女性駅長」「よこはま女性農業者の農と都市の交流」「6次産業農業と新規就農女性」女性農業者支援から地域活性化を考えたいという意向が強く、女子学生の志向に新たな潮流がみられます。

大きな金融機関よりも、信用金庫や農山漁村サポートＮＰＯに就職する卒業生や、消費者教育に強い家庭科教員などの志向が増えて金融教育と食農教育をあわせた消費者教育を展開することにしました。学部から東京家政学院大学の大学院に進学したゼミ生は6名。就職活動などで社会のなかで自分が生きるために必要な専門性とは何かを考え、自分の生涯設計に悩む大学4年生は、「卒業成長値」が本当に成長する時期です。

東京家政学院大学、家政学部、家政学科、家政学専攻と「家政学」が4つも続く学生は、平成23年度までです。平成24年度は、家政学部現代家政学科「消費者教育コース」マースガール（火星の娘たち）の頑張りに期待しています。

研究室のシンボルマーク
「現代家政学のできること
地球の絵」